

テーマ「事前指定書と末期ガンは手を尽くしてはいけない」

【金重哲三 先生 プロフィール】

昭和24年生まれ。岡山大学医学部大学院博士課程修了。

岡山大学医学部付属病院、香川県立中央病院勤務を経て、昭和59年より岡山中央病院泌尿器科現役医師となる。昭和61年より特定医療法人鴻仁会理事長に就任。コウジン・ヘルスケア・グループ（岡山中央病院、岡山中央奉還町病院、プライマリ・ケアセンター伊島）の統括責任もつとめる。

著書には「それでも救急車を呼びますか 逝き方は生き方」（事前指定書様式見本添付） 「末期がんは手を尽くしてはいけない」 他

前半は「LivingWill」を広めよう。

後半は「末期がんは手を尽くしてはいけない」の内容で講演を進めます。

●事前指定書（LivingWill）をご存知ですか？

- ・最近の日経新聞の記事によると知っている人は35%、書いたことがある人は2%です。
- ・現代医療は進歩して昔のような死に方が出来なくなった。
検査漬け、薬漬け、挙句の果ては点滴付けにより水ぶくれの状態ですんでいくのである。
- ・ホスピスに来る患者はすべての医療処置をし、残された治療方法がないのにそれでも家族から何とかしてくれといわれれば治療が継続されるのである。又、医師が勝手に治療を打ち切るとは犯罪となるのでできない。
- ・終末期の医療（医療上治療という切り札が無いのが終末期である）
手を尽くせば尽くすほど患者さんを苦しめるのが終末期の医療です。
- ・いつ死なせるか？
テキサスの巨大病院の倫理委員会の指針によると、倫理委員会ですることは栄養チューブを抜く、気管内挿管のチューブを抜くとかすることを倫理委員会が決める。
委員会は医療従事者や一般の人、いろいろな人により構成されている。

●事前指定書とは

- ・自分の意思を自分が伝えられないときにどうしてほしいかを書いておく。
基本的には治療してくれるなということを書くのです。
何も書かなければ医療機関は治療をしてくれるのでそこが事前指定書の書き方が難しいのです。
- ・治療してくれるなと書くのは難しい
 1. 逝くべき時には安らかに逝かせてくれとの内容を書く。
 2. 選択された治療以外の治療行為自体を拒否する。
- ・どんなときに救急車が呼ばれるか
 1. 何かの病気で痛みに耐えられなくなったとき。
 2. 何かの病気で息苦しくなったとき。
 3. 交通事故などで怪我をしたとき。
 4. 持病が悪化したとき。
 5. 心臓や呼吸は大丈夫だが脳卒中などで意識がなくなったとき。
 6. 心臓や呼吸が急に止まった場合（心肺停止状態）⇒自動対外除細動器（AED）の普及で救命率が上がっている。

心肺停止後 1分⇒ほぼ100%助かる。
3分⇒75%助かる。
4分⇒5分5分
5分⇒25%助かる

・アメリカやカナダは「事前指定書」を持っているかどうかの確認が出来るよう法律で決められている。入院時確認する義務を医療機関側に持たせている。

●「事前指定書」はなぜ必要なのか？

本人との意思疎通が出来ず更に助かる見込みがない人に、医者から家族に対してどうしますかと聞かれたら家族は答えるのは難しい。そのために事前指定書を作成する。事前指定書は常に身近に持っていて家族にも話しておくこと。

今は延命治療はしてくれるなという話だけでも今の救急学会ではしない方向にある。

・医療が進歩したために痛めつけられ静かに死んでいくことが出来なくなった。

・フランスの外科医アンプロワーズ・パレ（16世紀）

「時に治し」⇒現実の医療は常に治している

「しばしば和らげ」⇒重症患者についている看護師さんの数はアメリカの4分の1で和らげたり癒したり出来ない。

「常に癒し」「望むべきは予防する」

●医療行為とは痛めつける行為。患者さんの身体が痛む。

ヒポクラテスも、「傷つけるな！」という医療倫理の原則を述べたが、医療が本質的に傷つける行為であることがそのベースにある。

医療者は手を尽くしている方が楽で、手段があるのに使わないのはつらい。だが、使うことで、患者さんを苦しめる結果になることはよくある。

・事前指定書の文例

1. 私は昭和 xx 年 xx 月 xx 日に xx 病院を退院時に、XXXXXXX 病と告知され帰宅しました。完全な治療方法もなく後わずかの余命と知りました。就きまして、
2. 在宅中に意識を失うような事態が生じた場合、救急車を呼ばずそのまま安楽死に導いてください。
3. 苦痛が激しい場合は痛みを和らげる処置のみにして一時も早く安楽死の処置をしていただき病苦のない安らかなところへ逝ける様に導いてください。
4. 植物人間的延命処置（パイプを入れたりする治療すべて）はしないでください。
5. 出来る限り一日でも一時間でも長く在宅で、優しい家族のぬくもりに接し、.....

以上よろしく願いいたします。

昭和 XX 年 XX 月 XX 日 田中三郎

※がんの場合もがんであることを教えてほしいと書いておくこと

●生きているのはは当たり前と思っているのは

実は死ぬのが当たり前であるのが真理ではないか（我々は死ぬのを忘れてる）

煩悩の極み

生きたい欲

元気でいたい欲

病気になりたくない欲

年をとりたくない欲

死にたくない欲

※この欲を持ったまま死ぬといい死に方をしない。

- ・われわれは体の欲求にしたがって生きている（体に踊らされている）
- ・人は生きてきたように死んでいく、これは真理である。
暗い生き方をした人は暗い死となる
- ・あの世に持っていけるもの
 1. この世で行なった「よい行い」と「悪い行い」
 2. 行いとは行動だけでなくしゃべったことや心に浮かんだ感情なども含まれます。
- ・あの世には何を持っていきますか？
お金や土地や宝石などの財産、名誉や健康、愛する家族、配偶者や子供や孫・・・
これらはこの世で価値があるものと思われているが最後は捨てなくてはならない。
- ・あの世に持っていけないものに執着する
何で執着してはいけないか⇒執着すると最後が未練になる⇒未練があると心は暗くなる。心が暗いままの死は一番よくない。死に顔に現れる。
- ・未練
今までは手に入るものは大事だという価値観で生きてきたがこれらの未練を一個一個捨てていく練習をしないと死ぬ最後のときにその価値観を切り替えることが出来ない。
- ・死ぬにあたっての心の持ち方
 1. 充実した心：感謝する心、後悔しない心
 2. 明るい心：みれんを解き放つ
 3. 喜ぶ心：死を見据え、一生に満足し、心の安らぎに喜ぶ
- ・死に方の極意に繋がる生き方
これは難しいことではなく悪いことはしないこと⇒よいことをこつこつと積み重ねる
 1. 諸悪莫作：いろいろな種類の悪いことをするな
 2. 衆善奉行：たくさんのよいことを心を込めて行ないなさい
 3. 自浄其意：自分の心を綺麗にしなさい
 4. 是諸仏教：是がもろもろの仏の教えです
- ・結果のよしあしは心次第である
「どんな心で行動するか」で結果が変わる。
いかに心をよい状態に保つかが一番大切なことである
人は自分の撒いたものを刈り取ることになる（因果応報）

- ・四無量心
慈：慈しみの心：幸せでありますように
悲：思いやりの心：悩み苦しみがなくなるように
喜：幸せを喜ぶ心：願い事が叶えられますように
捨：こだわらない心：悟りが現れますように

●私の願い（金重先生自身のお言葉）

1. 別れの言葉を告げ
2. 感謝の言葉を述べ
3. みなに惜しまれ
4. みなに感謝され
5. 小さな子供にも死に様を見せ
6. 涙の別れの中にも笑いと満足がある死に方
そんな死に方をしてほしい

以上